

卒業生紹介

経験を力に! ~挑戦する勇気を~



Matsushima Mika
松嶋 美佳

日本ペイント・
オートモーティブコーティングス株式会社

愛知県出身

2007年3月 お茶の水女子大学 理学部 化学科 卒業
2009年3月 お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 理学専攻 修了
2009年4月 日本ペイント株式会社 入社
寝屋川研究所勤務
2015年4月~ 日本ペイント・オートモーティブコーティングス株式会社 出向
枚方本社勤務

化学を学んで

大学・大学院では理学部・化学科で、中国に生息するキク科植物を対象に染色体・DNA・化学成分分析によってその多様性を解明する共同研究を行ってきました。採集したサンプルの根から抽出した抽出液から化合物の単離・精製を行い、得られた化合物のNMR、MS、IRなどの測定を行い構造決定を行っていました。新規化合物の構造特定はたやすいことではありませんでしたが、地道に分析を行っていくことで構造決定を行うことが出来、共同で論文投稿まで行うことが出来ました。私はこの研究を通じて、研究全体から結果から考えられることをしっかり論理的に考察することを学び、スキル面からは分析機器を多く用いているので、分析機器を使いこなし、さらには得られてきたデータを的確に読み取れることを学びました。これらの研究から、「社会の中で化学に携わる仕事をしたい」と思い、化学メーカーの中から社員の方の雰囲気に着かれて、今の会社に就職しました。

分析の仕事

当社は1881年に創業した総合塗料メーカーで、自動車用塗料・工業用塗料・汎用塗料・船舶用塗料・表面処理などの事業を行っております。就職して最初に配属されたのは、R&Dの分析グループでした。全部門の塗料に関する分析を行う部署で、塗料開発において必要な分析から、顧客で発生したクレーム分析まで行いました。塗料というのは樹脂、顔料、溶剤、添加剤などが混ざった混合物です。さらにそれがお客様のところまでどのように塗装されるかによって、塗料のパフォーマンスは大きく変わってきます。そのような複雑な塗料・塗膜を分析するのは容易ではありません。最初は塗料の知識もなく、分析結果の考察も自分一人では出来ずに悶々とすることもありましたが、過去の膨大な知見や先輩社員の方々のご指導のおかげで、3年目の時には他部署と協働したテーマにおいて、その一員として全社の技術賞をいただくことが出来ました。ここでは全部門の塗料分析を行うため、多くの方と

協働で分析を行うことが多々ありました。学生時代に培った誰とでも話が出来るコミュニケーション力を生かし、様々な部門の方と顔見知りになれたことも自分の財産となりました。

グローバル化

現在、多くの日本企業がグローバル化の真只中にあるのではないかと思います。当社も例外ではなく、ここ数年で急激な変化を迎えています。その中で2017年度より海外の拠点に3か月滞り、海外の仕事を学ぶという短期留学制度が始まりました。私は応募要件から外れている項目があるのにも関わらず、自ら手を挙げて応募し、フランスの関連会社に行く機会を得ることが出来ました。そこで欧州自動車メーカー向けの塗料開発を行いました。これまでの日系自動車メーカーの視点、仕事のやり方、働き方も異なり、最初は戸惑うこともありましたが、現地の方々も非常に親切で多くのことを学ぶことが出来、今後の自分の大きな糧となりました。女性活躍の視点では、フランスで自動車メーカーのカンファレンスに参加した際に、発表者の半分が女性であり、女性の方も積極的に自信を持って質問をしていたことが印象的でした。日本の場合、同様のカンファレンスでは男性の方がほとんどだと思います。日本の女性ももっと自信を持って、そういった場に参加していくことが必要だと思いました。来年度は欧州自動車メーカーをターゲットにした塗料開発チームへ異動することになり、この経験を生かしてお客様に満足していただける塗料開発に尽力していきたいと思っています。



フランス関連会社メンバー

確に読み取り、結果から考えられることをしっかり論理的に考察するというプロセスは今も活かしていると思います。ですから、学生さんには今の研究を一生懸命、真剣に取り組んで、色々な考え方をしてほしいと思います。その姿勢や考え方は社会人になっても必ず役立ちます。嫌なことや想定していない事態に出会った際にも、簡単に逃げ出さずに色々な考え方をして乗りきってほしいと思います。人間関係で悩むこともありますが、学生時代は様々な考え方や価値観を持つ人に出会うことが多く、人間関係を磨くいい時だと思いますので、たくさんの人に出会ってたくさんの経験をするといいと思います。近年、女性活躍が叫ばれる中で突然思いがけない機会に遭遇することもあると思いますが、そんな時はぜひ挑戦してみてください。私は「経験は能力に転換される」と信じて、新しいことが経験できる機会は積極的に挑戦するようにしています。(例えば仕事の発表などの機会以外にも組合活動や趣味の旅行、フットサル、茶道、華道など)ぜひみなさんも何事も前向きに挑戦してみてください。そして最後に友達を大事にしてください。大学時代の友達はどんな時も自分の味方になってくれる一生の友達になること間違いなしです。

文責：基幹研究院自然科学系准教授 矢島 知子

わたしのオフタイム

休みの日は社内外の仲間とフットサルを楽しんでストレス解消をしています。また大学時代の友達と会って話すことも好きで、毎回みんなの考え方や仕事ぶりに刺激をもらっています。

学生へのメッセージ

これまで塗料・塗膜分析、現象解明などを行ってきた中で、大学時代の研究テーマや知識がそのまま活かされたかということ、そうではありません。しかし得られてきたデータを的